

BSCA 公開シンポジウム in 東京

— Cx に関わる技術者の資質とは —

Building
Services
Commissioning
Association
BSCA

日 時： 12月2日(金) 13:30~17:00
場 所： 首都大学東京 秋葉原キャンパス (秋葉原ダイビル12 階)
主 催： 建築設備コミッショニング協会 (BSCA)
協 賛： (社) 空気調和・衛生工学会
(社) 建築設備技術者協会

本シンポジウムは、(財) 建築技術教育普及センターの普及事業助成を受けて実施いたします。
また、このプログラムは「[建築CPD 制度対象プログラム](#)」として登録しています。

主 旨

建築設備のコミッショニング過程で性能検証や運転の最適化をおこなうためには計測データの分析が不可欠です。しかし多くの場合、収集データは膨大でデータの形式も様々であり、かつ欠損や異常値もあるため、必要なデータを抜き出して処理し分析する作業は様々な困難を伴い多大な時間がかかるのが通例です。また、分析に必要なデータ計測がなされていないことも多く、計測器を用いた計測作業が別途必要となることも日常茶飯事です。こうした作業を実施する人材を BSCA では性能検証専門技術者 (Cx-TE) と位置付けています。しかし現状では、こうした適切な人材を見つけるのは簡単ではありませんし、何が具体的に必要な資質であるかについてのコンセンサスもありません。そこで、本シンポジウムでは、Cx-TE の技能と資質はどうあるべきかについて公開で議論し、既に軌道に乗りつつある Cx-PE 資格と対をなす Cx-TE の輩出を目指して、その資格要件を整理したいと考えます。是非、Cx-TE になろう、あるいは Cx-TE を教育しようという観点から、色々なご意見を持ち寄って頂き活発な議論をして頂きたいと思えます。

内 容

- 13:30 理事長挨拶 中原信生 (建築設備コミッショニング協会理事長)
- 13:35 主旨説明 吉田治典 (建築設備コミッショニング協会副理事長、岡山理科大学教授)
- 13:40 「コミッショニング技術者の技能と資質」 大森一郎 (森ビル(株))
- 13:55 「東京都の総量削減義務と排出量取引制度におけるコミッショニングの位置付け」
福澤克二 (東京都環境局)
- 14:10 「運用段階における空調運転最適化に必要なデータ処理とモデル化技能」
宮田征門 ((独)建築研究所)
- 14:25 「引渡し後段階における性能検証実施例」 高瀬知章 (株)三菱地所設計)
- 14:40 「機能性能試験における Cx-TE の役割」 上谷勝洋 (東洋熱工業(株))
- 14:55 「搬送系の機能性能試験における計測とデータ処理」 三浦克弘 (鹿島建設(株))
- 15:10 「BIM によるコミッショニングの可能性」 一ノ瀬雅之 (首都大学東京)
- 15:25 (休憩)
- 15:40 パネルディスカッション (モデレータ 吉田治典：前出)
- ・ CxPE への CxTE の資質に関するアンケート結果の概要 吉田治典 (前出)
 - ・ CxTE の資格要件に関する発表
 - 「分析のためのプログラミングと Cx ツールの習熟度について」 赤司泰義 (九州大学)
 - 「食べて行ける TE を目指して」 須山喜美 (㈱間組)
 - 「CxPE と CxTE の役割分担について」 高瀬知章 (前出)
 - ・ 討 論 (中原信生：前出、大森一郎：前出、岡敦朗：(株)森村設計、発表者4名)
- 17:00 終了

お申込はホームページからお願いします→http://www.bsca.or.jp/event.html#2011sympo_tokyo